





DX化人材育成事業 活動報告書

令和5年6月発行

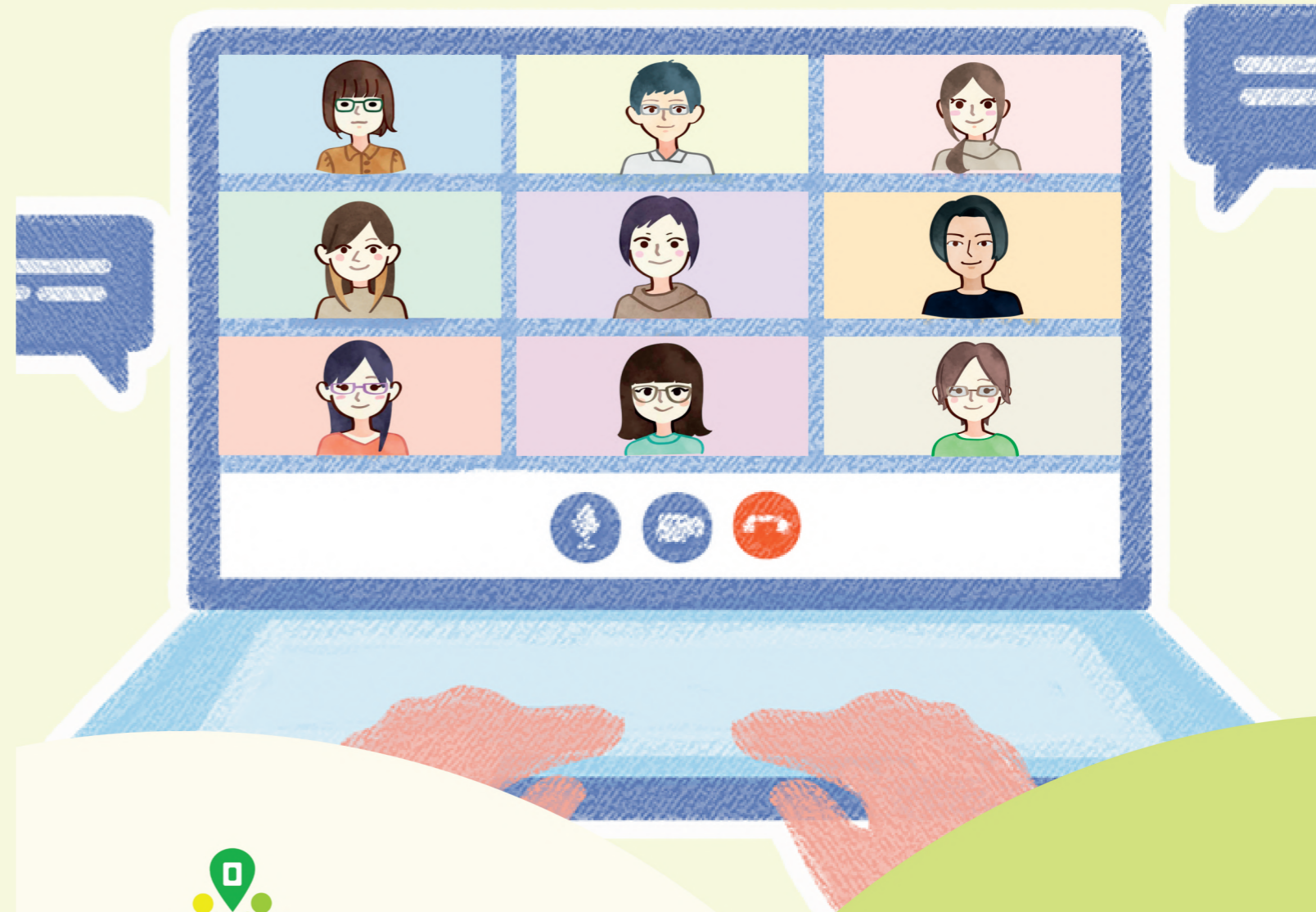
特定非営利活動法人 どりいむスイッチ

 〒720-0812
広島県福山市霞町一丁目8番15号 霞町ビル2階

 084-971-4865

 info@dreamswitch.org

DXページ

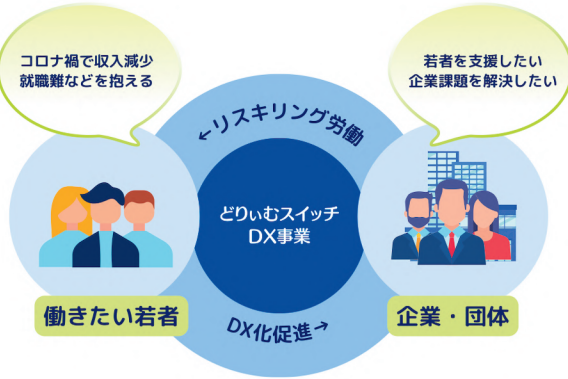


DX化 人材育成事業 活動報告書

2022

<https://dreamswitch.or.jp/>

DX化人材育成事業とは



DX化人材育成事業で働きたい若者を応援

DX化人材育成事業(以降、「DX事業」とする)は、若者たちのデジタル技術習得を支援し、情報発信スキルを持った在宅ワーカー育成を目指したプロジェクトです。様々な事情により外で働けない若者たちが、働き方の選択肢を増やし、活躍の場を広げてほしいという想いから始まりました。完全オンライン(Zoom)で、参加メンバーはSNS発信やHP制作、動画編集などを学びます。DX事業には以下の特徴があります。

☆プロの講師から学ぶ

プロとして仕事をしている講師に協力していただいています。各分野の講師陣(デザイン、ライティング、HP制作など)から、作品に丁寧なアドバイス。参加者はプロの意見から刺激を受け、理解を深めます。

☆仲間と共に学ぶ

制作した成果物について意見交換をしたり、チームで作業をしたり、参加者同士が協力して取り組むプログラムです。仲間と共に学ぶことで、参加者はお互いの得意を発見し、他者の意見からヒントをもらいます。また、仲間同士の交流を通して、仕事に必要なコミュニケーションスキルも身に付きます。

☆実践を通して学ぶ

この事業では、実際にプログラム参加企業団体の仕事に取り組みます。参加者は技術を学び、仕事に活かすため、実践的なスキルが身に付きます。また、仕事として取り組むことで、参加者は収入を得ます。そのため、経済不安を抱える若者も安心して学習可能です。※2022年度は、助成金(休眠預金)を活用して実施しました。2023年6月現在事業は実施しておりません。今後の実施予定など詳細は決まり次第HPに掲載いたします。

1週間のスケジュール例

※2クール目 メンバーの1日

	月	火	水	木	金
10:00	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼
11:00	チームミーティング	クライアントと打ち合わせ	講師チェック	講師チェック	個人作業
12:00	お昼休憩				
13:00	進捗確認	進捗確認	進捗確認	進捗確認	進捗確認
14:00	チーム作業	個人作業	講師チェッククライアントと打ち合わせ		チーム作業
15:00	キャリア面談			個人作業Udemy視聴	振り返り記入
16:00	チーム作業	チーム作業	チーム作業		1週間振り返り
17:00	終礼	終礼	終礼	終礼	

講師チェックや1週間の振り返りを通して、フィードバックを受けることで、自分の強みを再発見していきます。また、キャリア面談ではキャリアコンサルタントと進路について考え、6週間ごとにスタッフとも個別で活動を振り返るため、次の課題が確認できるのも魅力です。※チーム作業では、意見を出し合って、一緒に仕事に取り組みます。個人作業では、分担した作業に取り組んだり、作業時間に余裕がある時はUdemy(動画で学ぶオンライン講座)などを利用してスキルを磨いたりします。

終了後もDシナジーで継続支援

Dシナジーとは、外で働くことが難しい若者のために、どりのむスイッチが始めたDX化アウトソーシング事業です。どりのむスイッチスタッフとスキルを持ったプロ講師のサポートのもと働きながら経験を積んでいくことができます。DX事業のプログラムを終え、更なるスキルや経験の習得を希望する人には、Dシナジーを通してサポートを続けていきます。



休眠預金助成金を活用しています

DX事業は、社会課題解決を目指す民間活動に助成される休眠預金助成金を財源としています。助成金には限りがありますが、今後も若者に「いつからでも安心して学べる仕組み」を用意したいと考えています。寄付金を募ったり、事業の形を変えたりしながら若者支援を続けていく予定です。

DX化人材育成事業18週間の流れ

オリエンテーション

最初の1週間は親睦を深めるため、オリエンテーションをしました。講師陣への初インタビューやメンバー同士の交流会。しっかりとコミュニケーションがとれ参加しやすかったです。



模範チラシ制作
Canvaでパン屋さんの模範チラシ制作。基礎はUdemyで学びました。メンバーや講師陣からフィードバックを受けることで、制作物の完成度を高めています。

Photoshop Elements

デザイン
Photoshop Elementsを使用し、SNS投稿用のイベント画像を制作しました。操作方法が複雑でしたが、講師陣からのご指導に加え、メンバー同士、経験者が初心者に教える場面もありました。



Zoomでの参加者の様子



HP制作



広報活動
どりのむスイッチのスタッフと打ち合わせをして、様々な広報活動を担当しました。クライアントの想いを受け取り形にする難しさを実感。次につながる良い経験となりました。

外部クライアント課題

外部クライアント
WAM助成金事業の報告書やコラボ動画などを制作しました。ご依頼いただいた仕事は、企業団体の方々やチームになった気持ちで取り組みました。丁寧にヒアリングして、より良いものになるよう話し合いを重ねました。制作物を見て喜んでいただけて、とてもやりがいを感じました。



ポートフォリオ制作振り返り、卒業式

まとめ
ポートフォリオ制作や卒業式は感慨深かったです。将来の目標や感謝の想いを語り合いました。ここでの経験を活かし頑張ります！



ツールについて学ぶ 1クール目 (1週目~6週目)

どりのむスイッチの広報 2クール目 (7週目~11週目)

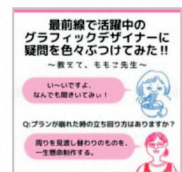
企業団体の仕事に取り組む 3クール目 (12週目~18週目)



名刺制作
夢や将来像を思い描きながら制作。この頃はメンバーも出て来て間もなく、ドキドキ。緊張のなか発表すると、拍手や応援の言葉をいただき「頑張れそう！」と思えました。

写真、Canvaライティング SNS投稿

写真撮影
様々な構図を学びました。お気に入りの写真を狙って工夫を凝らしています。



SNS投稿
チームを組んで挑戦。どりのむスイッチのアカウントを使ってInstagramやFacebookに投稿するテキストや画像を制作しました。



動画編集
Premiere Elementsの操作方法を学びました。課題は自己紹介と施設紹介。動画編集は作業が多く苦戦しましたが、メンバーと助け合い、習得したスキルを総動員して作り上げました。

Premiere Elements

HP制作
どりのむスイッチをクライアントとして実際にHPを制作しました。写真撮影、デザイン、画像編集、ライティング。6週間で身に付けたすべてが活かされています。WixやWordPressを使用しました。



広報活動
どりのむスイッチのInstagram運用や、自立援助ホームエクリュの施設紹介動画、退所児童等アフターケア事業所カモミールのチラシ制作などに取り組みました。

どりのむスイッチの広報活動

外部クライアント
岡山県で子育て支援をされている団体「わしがやらねば」さんからご依頼いただき、寄付やボランティアを募るリーフレットと寄付金サイトを作成しました。テキスト、デザイン、イラストなど役割分担してチームで作りました。



あっという間の18週間 貴重な経験をありがとう



メンバー紹介

1期生

講師の方との出会いがライターへの道につながりました

Mさん



DX事業に参加した動機を教えてください

仕事を探していましたが、子どもが3人いるため、外で働くことの難しさを感じていました。コロナ禍で学校の休校が多かったので、尚更でした。在宅ワークなら育児と仕事の両立ができるかもしれないと思い、求人を探していました。パソコンを使って仕事をしたいという漠然な思いはありましたが、自分がなにをやりたいかにもなができるかもわからない。DX事業では様々な仕事のことを学べると知って、勉強しながらやりたいことが見つければいいなと思い、参加を決めました。

DX事業に参加する前後で、何が変わったと思いますか

ライターになりたいという目標を持つことができました。それは講師のYさんとの出会いが大きいですね。自分が書いた文章を添削してもらったので、良いところを褒めていただきました。褒められて自信がつくことで、ライティングをやってみたいという気持ちが芽生えました。また、以前はライターという職業はなにをやるのか、どうやって稼ぐのかイメージがついていませんでした。実際にライターとして活躍しているYさんを知ることで、働き方が見えたことが良かったと思います。参加して良かったと思える出会いは講師の方だけではなく、他の参加メンバーや、どろいむスイッチとのつながりもできました。オンラインでこんなにたくさんの人とコミュニケーションがとれて、出会えるとは思っていませんでした。ここでつながれた縁をこれからも大切にしていきたいと思えますね。

DX事業終了後の進路を教えてください

まだ駆け出しですが、ライターデビューすることができました。きっかけは、Yさんに紹介されたライター講座です。そこでさらにライティングの勉強をしたり、課題に取り組んだりして経験を積みました。すべて受講した後のテストライティングに合格し、取材記事がWebメディアに掲載されました。DX事業で学んだことは、インタビューのやり方や、パソコンツールの使い方など、文章以外の面でも活かされています。ライターの仕事楽しいので、これからも続けていきたいですね。いつかYさんのようになれたらいいなと思っています。

Mさんの作品



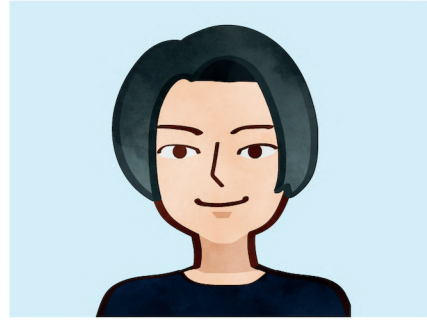
スタッフからみたMさん

講師や人とのつながりを大切にしていたMさん、DX事業外でも学びを深め、ライターデビューを果たしました！また、DX事業を卒業し、夢を叶えていく先輩としての姿は、2期生の刺激にもなっていました。

1期生

将来のことを考える余裕を持ってました

Hさん



DX事業に参加した動機を教えてください

アパレル店を営んでいましたが、コロナ禍で経営が厳しくなり、廃業に追い込まれてしまいました。その当時は経済的にも精神的にも余裕がありませんでした。再就職を目指すとしても、就職活動に必要な交通費の捻出すら厳しい。ゆっくり将来のことを考える時間もない。そんな時、ふくやま地域若者サポートステーションでDX事業を紹介されました。パソコンを使った仕事への就職は考えていませんでしたが、面白そう、今後なにかの役に立つかもしれないと思いました。なにより収入面で次のステップに進むための準備資金を確保しながら、新たなスキルを学べる点がありたく、参加を決めました。

DX事業に参加する前後で、何が変わったと思いますか

精神的に安定できた点が大きかったと思います。以前は自分の世界にこもりがちでしたが、毎日参加メンバーと顔を合わせて会話をするなかで、追い詰められていた気持ちが落ち着いてきました。また、DX事業では1週間一度振り返りの時間があります。そこでは参加メンバーの今考えていることや、将来に対する不安などについて聴く機会もありました。自分以外の人も悩みながら生きているのだなと思えたことが大きかったです。精神的な余裕が出てきたことで、その先の人生のプランを漠然と考えることができるようになりました。DX事業で働きながら考える時間をもらったことはとても良かったです。

DX事業終了後の進路を教えてください

製造業の工場に就職が決まり、働き始めました。肉体的にきつい時もありますが、初めての作業は新鮮で、楽しく過ごしています。DX事業に参加した経験が、職場の人たちとのコミュニケーションに活かしていると思います。廃業によって好きだった服が好きでなくなった経験から、就職先はあえて自分の好きや興味のある分野とは違う職場にしました。好きなことは趣味として残しておきたいですね。DX事業ではたくさんのスキルを学んだので、今後は趣味の分野でなにか発信していきたいなと思っています。

Hさんの作品



スタッフからみたHさん

最終的にはDX事業とは全く違う進路を選んだHさん、キャッシュフローワークの仕組みが再就職につながりました！※DX事業におけるキャッシュフローワーク…コロナ禍で就職が困難になった若者が、賃金を得ながら就労支援を受けることで、経済基盤を整えつつ、自立を目指します。

2期生

自分の作る動画で人の役に立てるかも…そう実感しました

Sさん



DX事業に参加した動機を教えてください

専門学校で映像制作を学び、映像制作会社に勤務していましたが、対人場面での不安症から出勤が難しくなり、退職しました。その後、在宅ワークで映像関係の仕事を探したのは、オンラインでのコミュニケーションであれば自身の負担が少ないと考えたからです。しかし、中途採用の人材としては経験が浅く、採用に至りませんでした。そこで自分のスキルや経歴に自信を失ってしまい、努力する気もなくなっていました。自分は今もうキャリアを築けないのかもしれない、でもなにかきっかけを掴みたい。DX事業に参加したのは、そんな私でも経験が積めるのではと考えてのことでした。

DX事業に参加する前後で、何が変わったと思いますか

退職後、動画編集についてもっと勉強したいとは思っていても、自信のなさから気後れしていました。けれどもDX事業でやってみようと思ったのは、やはり動画編集。そう伝えると、動画編集の仕事をする機会を多くもらうことができました。専門学校や前職では、動画の1部分を編集することはあり、編集操作自体は知っていました。しかし、自分で1本の動画を作り上げる経験は初めてでした。DX事業では制作物に対して講師や参加メンバーから感想をもらう場面が多くあり、たくさん褒めてもらえたことが自信につながりました。作った動画を見てもらい、感想をもらえる経験はこれまでほとんどなく自分にとって大切な場でした。今は、自分でも人が喜んでくれる動画を作れるという手応えを感じています。

DX事業終了後の進路を教えてください

フリーランスで動画編集の仕事をしたいと思っています。そのために新たなスキルを習得することと、サンプルとして見てもらえるオリジナル作品を作ることから始める予定です。DX事業で動画を作った経験から、どのようなスキルがあればより良い動画を作れるかが見えてきました。モーショングラフィックスが使いこなせればもっと楽しい動画を作れると思ったので、勉強を始めているところです。また、将来的には動画編集だけでなく、撮影もできるようになりたいと思っています。

スタッフからみたSさん

元からスキルはたくさん持っていたSさん、DX事業内でたくさんの動画を作り、メンバーやお客さんの声を聴くことで自信をつけ、前向きな気持ちに変わっていったと感じています！

Sさんの作品



2期生

PCスキルゼロからキャリアアップできました

Aさん



DX事業に参加した動機を教えてください

私は子どもが2人いることや夫が通勤族であることから、在宅ワークを希望していました。前職ではエステサロンに勤めており、パソコンを使った仕事は未経験でした。ですので、いくら求人に応募しても採用ができませんでした。経験がないと雇ってもらえないけれど、どうやって経験を積めばいいのだろう。そんな時に未経験者歓迎のDX事業の求人を見つけ、ここで実績を作ろうと思い応募を決めました。

DX事業に参加する前後で、何が変わったと思いますか

参加当初は、パソコンの基礎的な操作もよくわかっていませんでした。しかし、毎日オンラインで集まって作業をするうちに自然とできるようになっていきました。わからないことは聞きやすい雰囲気だったので、楽しみながら身に付けられたことが良かったです。また、ZoomやSlackなどのコミュニケーションツールを使いながらメンバーと毎日やりとりをしていたので、在宅ワークに必要なツールに慣れることができました。参加して特に良かった点は、ライティングや動画編集、グラフィックデザインなど色々な分野に挑戦できたことです。自分になが向いているのかを試しながら見つける時間をもらったことはありがたいことでした。そのなかで私が最も興味を持ったのがグラフィックデザインです。もっとこの分野を極めてみたい、企業のSNS運用をしたいと思いました。

DX事業終了後の進路を教えてください

在宅の業務委託の仕事が決まりました。エステサロンの店舗教育や販売促進を推進する、スーパーバイザーの仕事です。前職の経験はもちろんのこと、DX事業で得たスキルも評価されて採用に至ったと感じています。仕事内容にはマニュアル作成も含まれ、PCスキルが必須なので、以前の自分にはハードルの高いものでした。DX事業で在宅ワークに必要なツールを使いやすくなったことで、キャリアアップを実現できたと思います。また、内定先から、自分から手を挙げれば、SNS運用に携わるチャンスもあると言われました。グラフィックデザインを使った仕事をやりたいので、ぜひ挑戦してみたいですね。

スタッフからみたAさん

Aさんはとにかく努力家！何事にも全力でチャレンジしていくなかでPCスキルを身に付けていき、見事にキャリアアップしました！

Aさんの作品



DX事業のサポーター・クライアント



Kさん

福山市で活動しているイラストレーター
毎週グラフィックデザインの講師として参加

DX事業を振り返って

自分の経験や技術を人に教えることが初めてだったので、新鮮な体験でした。まず、同じ課題を与えられても、参加メンバーによって、全く異なるものを作ることが、おもしろいなと思いました。意識していたことは、それぞれの個性を認識して、参加メンバーと一緒にその個性を楽しむことです。一人ひとりの良さを活かしつつ、よりよい作品にするためのアドバイスをしていました。オンラインでの交流でしたが、参加メンバーと距離を感じることはありませんでした。気軽に相談してくれる関係になれたことが嬉しかったです。人に教えることで、自分も変わったと感じています。参加メンバーの個性を目の当たりにし、自分の個性を再認識できました。また、人の個性を大事にすることで、自分の個性も大事に思うようになりました。自分の作品により自信が持てたことで、仕事面で少し気持ちが楽になったと思います。講師を務めた経験から、なにかを作るときの気持ちを人と共有することの楽しさを実感しました。スキルだけでなく、生き方を含めて「こんな人もいるんだ」と参考してもらえたら嬉しいですね。以前から、人と一緒に創作活動を楽しみ、それぞれが個性を出せるような場を持ちたいと考えていました。DX事業の経験を経て、より実現したい気持ちが大きくなっています。

DX事業を振り返って



Tさん

フリーランスでHP制作を行うwebデザイナー
ファシリテーターとして参加

ファシリテーターは参加メンバーと一番長く時間を共に過ごした存在だったと思います。朝はメンバーと顔を合わせ、その日の予定を全体に共有し、一人ひとりの調子を確認することから始まります。体調が悪い人や、いつもと様子が異なる人には個別で声をかけて話を聞くこともありました。18週間を共に過ごすなかで、最初は緊張していたメンバーが、悩みを打ち明けてくれたり、自分の想いを共有してくれたりすることが増えていきました。メンバーのみなさんが元気になっていく様子や、自信をつけていく姿を近くで見られたことが嬉しかったです。また、課題の制作をする場面では、講師の方にメンバーの進行具合を伝え、時間調整をすることもありました。私の役割は、講師やスタッフの方とメンバーの中間地点で、メンバーに寄り添いながら橋渡しを行うことでした。今までの人生では無縁だった「若者支援」について考えるようになったのは、DX事業のおかげです。自分が寄り添い一緒に考えることで誰かの助けになれるかもしれない。そんな実感がDX事業を通じてあり、貴重な経験となりました。

※ファシリテーター…グループ活動がスムーズに進行するように、プロジェクトを支え、調整する人

DX事業を振り返って



ボランティア団体
わしがやらねば

地域密着型の
子育て支援に取り組む団体
DX事業には、仕事の依頼者として参加

私たちの運営するフリースクール、子育て支援サービスの利用ニーズが次第に高まり、新たなボランティア人材と、寄付を募集したいと考えていました。そんな折に、DX事業のを知り、仕事を依頼しました。参加メンバーのみなさんと初めてオンラインで顔を合わせたとき、とても丁寧だったのが印象に残っています。この人たちに頼んでよかった、よい仕上がりになるだろう、と確信しました。また仕事を通じて私たちの団体の発展を真剣に考えてくださり、真摯に取り組んでくれました。打ち合わせを重ねる中で、私たちの団体に対して貴重なご意見をもらったのも多くの収穫の1つです。嬉しかったのは、オンラインだけのやり取りではなく、直接訪ねてきてくださったことですね。実際に私たちの活動を目で見て感じて、仕事をしてくださいました。素晴らしい仕上がりになりました。作成していただいたリーフレットは、地元ふるさと祭りなどで配布しました。おかげさまで、文房具など物品の寄付のほか、チャリティー活動でのご支援といったお声をいただいています。今後もこのリーフレットとサイトを活用して、私たちの活動を周りの方にお知らせしていきたいと思います。

DX事業に仕事を依頼していただき、参加メンバーが取り組みました。
依頼目的: ボランティア、寄付金の募集 仕事内容: リーフレット、寄付金サイト作成

ご挨拶



NPO法人どりいむスイッチ
代表 中村 友紀

DX事業を振り返って

どりいむスイッチは、若者が社会につながり直すための居場所活動からスタートした団体です。その居場所で最初に取り組んだのが、若者がITスキルを学ぶためのサポートでした。一緒にWebサイト制作やデータ入力を行いながら、若者が次のステップを見つけることを応援していました。その頃から、若者のリスクリングの機会の少なさと、参加のハードルの高さを感じていました。新しいスキルを身につけ、社会で活躍できるよう応援するのは、社会の側にとっても、有益なことだと考えています。けれど誰でも参加しやすいように無料や安価でそれを実現することは難しく、必要だと思いながら実現できない期間が続いてきました。

今回、休眠預金活用助成金に応募して、約10年ぶりに、その思いを実現することができました。皆さんがそれぞれにスキルアップを図り、力を発揮していける姿を垣間見れて、改めていつでも登れる階段が社会に用意されていることの大切さを感じています。

興味関心から始まり、試行錯誤しながら方向性を定めていくことを短期間で応援できるプログラム。方向性が定まった後、フリーランスでありながらも、プロジェクト毎にチームに参加し、仕事を通して力をつけていける働き方。それらが形にできればと思います。参加してくださった皆さん。支えてくださった講師陣の皆さんとこれからも協働していけると嬉しいです。

若者がやりたいことを見つけ、叶えていくことを応援できる社会になるよう、この報告書が理解者を増やすことにつながり、後押しの一つになればと思います。

プロフィール

キャリアコンサルタント 公認心理師

2012年から任意団体ドリイムスイッチとして若者の居場所提供をスタート。
IT企業に勤務した経験があり、居場所で若者とWebサイト制作等を始めた。
2013年からNPO法人どりいむスイッチの代表を務めています。

Special Thanks

DX事業に仕事をご依頼いただきました企業団体のみならず、並びに、講師の方々にも心より感謝申し上げます。



ボランティア団体
わしがやらねば様



Project SMILE様

ありがとうございました

講師陣

赤木 宜史様 菊地 永史様
木村 桃子様 高橋 朋子様 山口 ちゆき様



制作・編集

本報告書はスタッフのサポートのもと、DX事業を卒業した有志メンバーを中心に、制作・編集いたしました。



デザイン担当
明石



ライティング
インタビュー担当
柿原



似顔絵
イラスト担当
岡



ライティング
インタビュー担当
橋村

主催: NPO法人どりいむスイッチ

すべての子ども・若者が自分らしく生きていける社会を目指して、広島県福山市を中心に活動しています。
地域若者サポートステーション、退所児童等アフターケア事業所、自立援助ホーム他、様々なプロジェクトを実施しています。

キャッシュフオーワーク2021

キャッシュフオーワーク2021は、コロナ禍で就職が困難となった人の就労やスキルアップに取り組む団体に資金提供を行う助成事業です。若者を雇用し、就労支援を行う「キャッシュフオーワーク手法」を用いる事業を対象としています。休眠預金等活用事業からの資金提供のもと運営されています。DX事業は、助成団体に採択され、助成を受けていました。